

平成26年度(27年3月期) 第3四半期連結決算概要

平成27年1月30日
東京瓦斯株式会社

1.平成26年度 第3四半期 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント

増収減益：増収は5期連続、減益は2期連続。
売上高は歴代1位（これまでの過去最高は25年度）

ガス販売量	+720百万m ³	:鹿島地区を中心とする工業用（主に発電用）需要増
売上高	+1,448億円	:ガス販売量の増加及び原料費調整により都市ガス売上は1,047億円増 :電力・LNG販売等のその他エネルギー売上高425億円増
営業費用	+1,759億円	:ガス原材料費が数量増及び円安影響等により1,345億円増(当期7,765←前期6,420) :電力・LNG販売等のその他エネルギーに関わる費用440億円増
特別損益	+106億円	:（当期）固定資産売却益54億円、投資有価証券売却益48億円 投資有価証券評価損△5億円、減損損失△5億円 :（前期）固定資産売却益6億円、減損損失△21億円

(3)セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	26年度3Q	25年度3Q	増減	%	26年度3Q	25年度3Q	増減	%
都市ガス	11,195	10,148	1,047	10.3	505	823	△318	△38.6
器具及びガス工事	1,404	1,521	△117	△7.7	7	55	△48	△85.5
その他エネルギー	2,949	2,524	425	16.8	187	202	△15	△7.6
（電力）	1,234	966	268	27.8	149	140	9	6.5
不動産	193	213	△20	△9.1	39	45	△6	△12.0
その他	1,540	1,332	208	15.6	132	75	57	74.7
（海外）	274	135	139	103.2	80	18	62	344.5
調整額	△1,482	△1,388	△94	-	△305	△324	19	-
連結	15,801	14,353	1,448	10.1	567	878	△311	△35.4

(注)セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは各セグメントに配賦していない全社費用。

(4)主要計数

(単位:億円、%)

	26年度3Q	25年度3Q	増減		26年度3Q	25年度3Q	増減
設備投資	1,406	1,746	△340	D/Eレシオ	0.87	0.71	0.16
営業キャッシュ・フロー	1,419	1,578	△159	ROA	1.7	2.7	△1.0
有利子負債	8,606	7,138	1,468	ROE	3.8	5.9	△2.1

(注)有利子負債、D/Eレシオは26年3月末との比較

2.平成26年度 通期見通し <対前回(10.30)見通し>

(1)通期見通しのポイント

対前回増収増益（対前期は増収増益）

ガス販売量	+161百万m ³	:発電需要の増による工業用の増加等を反映
売上高	+160億円	:都市ガス+159億円（販売量増等）
営業費用	△140億円	:都市ガス原材料費△121億円（経済フレーム影響による単価減）等
営業利益	+300億円	:都市ガス事業+271億円、電力を含むその他エネルギー+26億円等 :前提となる経済フレームを変更(1月以降:為替レート110→120円/\$、原油価格100→60\$/bbl)

<26年12月末現在連結会社数:連結子会社68社、持分法適用関連会社6社>

(単位:億円)

決算実績表	26年度3Q	25年度3Q	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	10,850	10,130	720	7.1
売上高	15,801	14,353	1,448	10.1
営業費用	15,233	13,474	1,759	13.1
営業利益	567	878	△311	△35.4
経常利益	514	831	△317	△38.1
当期純利益	377	551	△174	△31.5

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)(※)
26年度3Q	106.73	102.54	19.3
25年度3Q	99.36	109.46	19.5
増減	7.37	△6.92	△0.2

(※)お客さまそれぞれの、ご使用期間（前月の検針日から当月の検針日まで）における気温を平均したもの。なお、平成26年12月2日に「東京」の気温観測地点が大手町から北の丸公園に移転されたことを踏まえ、移転日以前の気温については北の丸公園試験観測データに基づいている。

(2)ガス販売量

		26年度3Q	25年度3Q	増減	%	
ガス販売量	お客さま件数	千件	11,209	11,057	152	1.4
	家庭用	百万m ³	2,065	2,025	40	2.0
		百万m ³	1,912	1,994	△82	△4.1
		百万m ³	5,355	4,669	686	14.7
	計	百万m ³	7,268	6,663	605	9.1
	他事業者向供給	百万m ³	1,517	1,442	75	5.1
	合計	百万m ³	10,850	10,130	720	7.1

家庭用 :お客さま件数の増加および夏場の気温が低く推移した影響による給湯需要増
 業務用 :夏場の気温が低く推移した影響および検針日程の関係でガスのご使用日数が前期と比較して少なかったことによる需要減
 工業用 :鹿島地区を中心とする発電用需要の増
 他事業者向供給 :供給先事業者の需要増

(単位:億円)

	今回	前回	増減	%	25年度	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	15,548	15,387	161	1.0	14,735	813	5.5
売上高	23,070	22,910	160	0.7	21,121	1,949	9.2
営業費用	21,320	21,460	△140	△0.7	19,460	1,860	9.6
営業利益	1,750	1,450	300	20.7	1,660	90	5.4
経常利益	1,670	1,370	300	21.9	1,596	74	4.6
当期純利益	1,220	1,030	190	18.4	1,084	136	12.5

(単位:億円)

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)	為替・原油変動影響感度(4Q)	売上高	原料	営業利益
26年度	110.05	91.91	16.0	円・ドルレートが¥1/\$円安	3	20	△17
25年度	100.17	110.00	16.1	原油価格JCCが\$1/bbl上昇	0	5	△5
増減	9.88	△18.09	△0.1				

(注)東京地区の気温観測地点の変更（大手町→北の丸公園）に伴い、新観測地点の数値に変更（26・25年度共通）

(2)主要計数（通期見通し）

(単位:億円、%)

	26年度	25年度	増減		26年度	25年度	増減
設備投資	2,320	2,480	△160	D/Eレシオ	0.68	0.71	△0.03
営業キャッシュ・フロー	2,640	2,488	152	ROA	5.5	5.2	0.3
有利子負債	7,390	7,138	252	ROE	11.6	11.2	0.4